

今月の

数字

約4,000億円

(訪日観光客の飲食費)

松田 恭子

Profile まつだ・きょうこ ●津田塾大学国際関係学科卒業後、日本能率協会総合研究所で10年間公共系の地域計画コンサルタントとして勤務。その後、東京農業大学国際食糧情報学科助手を経て、現在、農業マーケティングアドバイザーとして農産物商品開発や販路開拓などをサポートする。(株)結アソシエイト代表取締役。

昔、2月下旬になると東京都内のホテルは受験生で混み合い、地方からの出張者は宿を確保するのに苦労した。今年は春節で観光に来る中国人の予約が多く、カプセルホテルを除いてホテルの予約が埋まってしまう異常事態となった。ニュースでも「爆買い」として旺盛な消費の様子が取り上げられた。

法務省の出入国管理統計表によれば、今年2月に日本に入国した中国籍の外国人は36万3,652人で、ここ数年で最高を記録した。2013年には約160万人だった訪日中国人は14年には254万人となり、もともと入国者数が多かった台湾(286万人)や韓国(301万人)より少ないものの、前年に比べ1.5倍以上の伸びを示した。

香港紙サウスチャイナ・モーニング・ポストによれば、中国人観光客の海外旅行動向をまとめた報告書において、14年に海外を訪れた中国人観光客数は1億900万人で、その約7割に相当する7,700万人が個人旅行を選んだという。中国人観光客の海外での平均消費額は8,173円(約15万7,000円)で、3人に1人が「買い物の予算に上限を設けない」、4割近くが「当初の予算をオーバーした」と答えている。

中国人観光客に人気が高い日本の商品は、電気炊飯器や空気清浄機、ウォシュレットなどの電化製品が多く、東京・秋葉原にあるラオックス本店に来店する中国人観光客のなかには買い物だけで2万円(約38万円)前後の予算を用意している人もいるという。

この旺盛な消費の結果、14年に訪日外国人が日本滞在中に使った旅行消費額2兆305億円(1人平均15万円)のうち、買い物代

が7,000億円超と全体の35%程度を占めるほか、宿泊費(約20%)や飲食費(約20%)などにもお金を使っている。日本に来る外国人観光客の飲食費は約4,000億円。お土産に数十人分の菓子を爆買いするという食品などの土産品も含めると食関連の消費金額は5,000億円に達しているだろうか。

14年の農林水産物・食品の輸出額は前年比11.1%増の6,117億円に上る。輸出だけではなく、国内に来る外国人に向けて農水産物・食品の販売を伸ばすことにも目を向けていきたい。14年に実施した調査で、中国人観光客が日本で買った品目の購買率のランキングを見ると、1位「お菓子」、2位「薬用化粧品・スキンケア用品・メイク用品」、3位「食品・タバコ・酒」、4位「家電製品」、5位「カメラ」となっているようだ。

食は身近な商品で、旅行の魅力を引き出すことができる。輸出も観光もメインの東アジアの顧客に向けてどのようなアピールを行なっていくのか。消費の場面に入り込んだ開発が必要とされる。

外国人入国者数(主要国籍別・月別)

